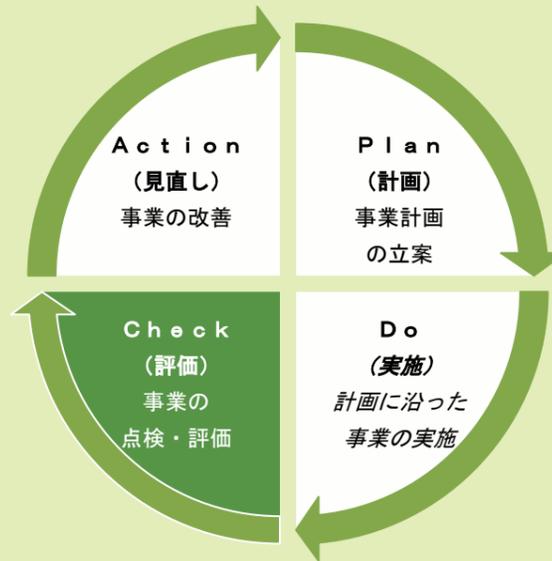


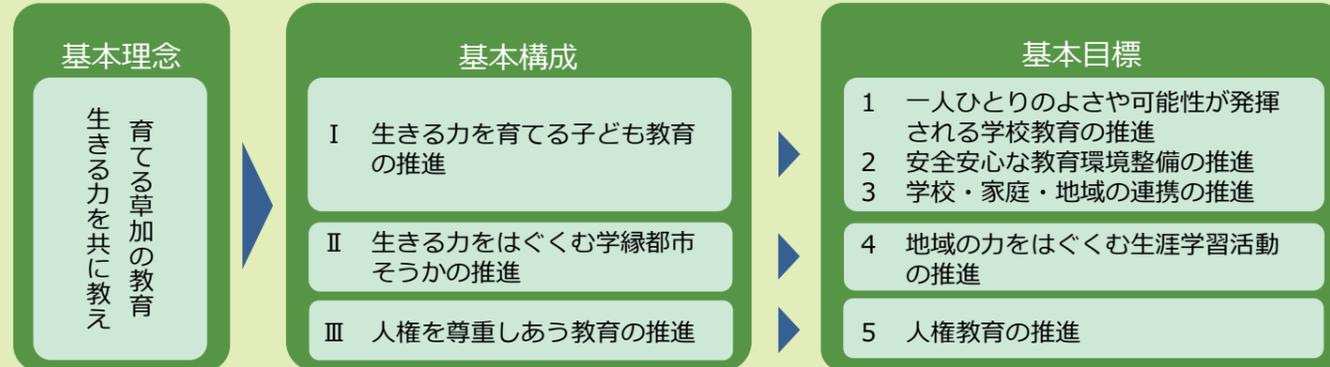
1 点検評価の目的

草加市教育委員会では、第二次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」（平成28年度～平成31年度）に基づき、基本理念『生きる力を共に教育する草加の教育』のもと、5つの基本目標を掲げ、教育課題に取り組むとともに、教育の振興を図るための具体的な施策を展開しています。

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条」の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、平成29年度に実施した教育委員会の事務に関する点検及び評価の結果を取りまとめたものです。



第二次草加市教育振興基本計画「笑顔かがやく草加教育プラン」



2 点検及び評価の方法

点検及び評価に当たっては、施策に基づく主な取組の活動内容実績、施策の指標に係る実績値から成果を明らかにすることによって自己評価を行い、課題を明らかにするとともに、次年度以降の取組についてその内容を示し、事務改善を図ります。

点検及び評価の客観性を確保し、知見を活用するため、教育に関し学識経験を有する点検評価委員から、様々なご意見、ご助言をいただきました。

3 点検評価委員（50音順 敬略称）

- ◆中 里 裕 一  
草加市PTA連合会副会長
- ◆平 野 恵美子  
元花栗小学校、元新里小学校及び元小山小学校長
- ◆森 田 和 良  
國學院大学栃木短期大学非常勤講師  
(前筑波大学附属小学校副校長)

4 総合評価結果一覧

総合評価の結果は次のとおりです。Aと評価したものが4件、Bと評価したものが12件、Cと評価したものと及びDと評価したものはありませんでした。

平成29年度 総合評価		
1-1	学ぶ力を伸ばす児童生徒の育成	B
1-2	心豊かな児童生徒の育成	B
1-3	健康でたくましい児童生徒の育成	B
1-4	きめ細かな特別支援教育の充実	A
1-5	一人ひとりに応じた就学支援の充実	A
2-1	計画的な学校教育施設整備の推進	B
2-2	魅力ある教育環境の推進	B
3-1	家庭・地域の教育力の向上	B
3-2	組織力をいかした学校経営の推進	B
3-3	子ども教育の連携の推進	A
4-1	生涯をとおした多様な学習機会の充実	B
4-2	生涯学習施設の整備とネットワーク化の推進	B
4-3	文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進	A
5-1	学校人権教育の推進	B
5-2	社会人権教育の推進	B
-	施策体系外事業	B
		A…4 B…12

総合評価基準

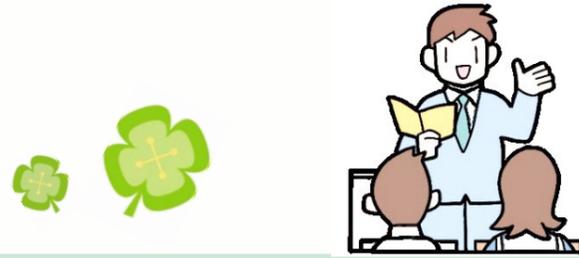
- A：十分に目標が達成された。
- B：相当程度目標が達成された。
- C：目標の達成がやや不十分であった。
- D：目標の達成が不十分であった。



施策1-4 きめ細かな特別支援教育の充実

◇成果目標

特別支援教育に対する正しい理解と指導力、専門性の向上を図り、特別支援教育の推進を目指します。



◇成果指標

教職員における特別支援教育に関する研修受講者の割合

※小学校は目標値を達成したため、次年度以降は平成31年度目標値を90%に変更します。

1-4	小学校	中学校
平成29年度実績値	89.6%	74.9%
平成31年度目標値	80%	75%

◇A評価の理由

就学奨励費の支給者拡大が図れたこと、草加かがやき特別支援学校のコーディネーターの専門性をいかし、特別な支援を要する児童生徒の適切な就学に関する理解や、具体的な支援方法の理解を得ることができたこと、また、教職員が特別支援教育に関して正しく理解し、個に応じた支援ができるよう指導力の向上が図れたことなどから、A評価としました。

施策3-3 子ども教育の連携の推進

◇成果目標

- 0歳から15歳までの「学び」「心」を結ぶ幼保小中を一貫した草加の教育の実施により、自ら学び、心豊かに、たくましく生きる草加っ子を育てます。
- 市内各園と小学校の交流・連携を支援することで教職員がお互いに教育のよさを取り入れ、子どもたちが小学校入学に対して期待感をもてるようにします。

◇成果指標

- 幼保小中を一貫した草加の教育の実施校数
- 小学校と交流・連携が行われている幼稚園・認可保育園・認定こども園の割合

3-3	(1)	(2)
平成29年度実績値	(9校) 28.1%	(50園) 94.3%
平成31年度目標値	100%	95%

◇A評価の理由

子ども教育プログラム等の理念や活用方法について、研修会をととして教員や保育士へ伝達できたこと、市内全ての中学校区に子ども教育連携教員を配置し、各学校と連絡調整を密に行うことで、年間を通じて円滑な乗り入れ授業の実施を支援することができたこと、保護者向け「親の学習」講座及び中学生向け「親の学習」講座を実施し、90%近くの参加者から肯定的な回答を得られたことなどから、A評価としました。

施策1-5 一人ひとりに応じた就学支援の充実

◇成果指標

- 経済的理由により高等学校などへの修学が困難な方へ教育の機会均等や有能な人材の育成を図っていくため、貸付人数の維持又は拡大を図っていきます。
- 入学準備金・奨学資金貸付返済率（現年度）を向上させることで、将来の貸付金の原資を確保し、支援の必要な方に確実に入学準備金などを貸し付けることを目指します。

◇成果指標

- 入学準備金・奨学資金貸付人数(新規・継続)
- 入学準備金・奨学資金返済率(現年度)

※(2)は目標値を達成したため、次年度以降は平成31年度目標値を96%に変更します。

1-5	(1)	(2)
平成29年度実績値	30人	95.53%
平成31年度目標値	65人	93%

◇A評価の理由

小中学校と緊密に連携するほか、広報そわかへの掲載やホームページの更新により、就学援助制度の周知を図ることができました。また、貸付金の返済滞納解消に向けた取組として、文書や電話等による積極的な返済勧奨を行ったことで一括返済者が増えたこと、口座振替による返済を推奨したことで、目標値を超える返済率を実現することができたことから、A評価としました。

施策4-3 文化遺産の発掘・保存等の計画的継続的な取組の推進

◇成果目標

- 歴史民俗資料館の企画する講演・講座・企画展・体験講座などをとおして楽しく学び、草加の歴史や文化に誇りや愛着をもってもらうため、歴史民俗資料館に訪れる人を増やします。
- 歴史民俗資料館において、講座、歴史に関する講演会、文化財関連の講座の開催、子どもたちのための体験教室、その他季節ごとの催しを展開し、市民が草加の歴史に誇りや愛着をもてる企画を行います。

◇成果指標

- 歴史民俗資料館来館者数
- 年間講座等（講演、講習、体験教室）開設数

※(2)は目標値を達成したため、次年度以降は平成31年度目標値を84回に変更します。

4-3	(1)	(2)
平成29年度実績値	15,210人	80回
平成31年度目標値	17,000人	70回

◇A評価の理由

草加市文化財保護指針を策定し、今後の文化財の保存活用についての基本理念や施策の方向性を定めることができたこと、Facebookへの投稿、ポスター・チラシの配布、各新聞社やマスコミへの働きかけなど、積極的な広報活動を行えたこと、昨年からの課題であった子ども向け体験講座の回数を増やすことができたことなどから、A評価としました。